

中学生の勉強法

ながめ

勉強時間の確保(自習への取り組み)

子供たちは十人十色というように個性があって、それに応じて指導のスタイルも変化させていかねばなりません。

おしゃべりが好きな子には、コミュニケーションを重視し過ぎて、授業時間を浪費してしまわないように。

おとなしい子には、友好関係が築き上げにくいので、しっかりと部活動や趣味の話を引っ張りだしてあげること。

勉強が嫌で、宿題をやってこない子には、易しい問題から徐々に数を増やして難易度をあげていく。

真面目な子には、どの講師も期待して力を入れ過ぎてしまいますが、休み時間に会話をして信頼関係を成立させておくことで、より一層勉強に対して真剣に取り組める環境を作ってあげることができる。

例を挙げていくとキリがないのですが、頻繁に考えることはやはり、生徒にとって何が一番大切か？

確かに仲良くなって、楽しく勉強してもらえることが一番良いという方もおられますが、高い授業料を払って先生と友達になることが目標ではないはずです。授業料に見合った対応を塾側はしなければならぬし、保護者の方も求めていってほしいと思います。

幸い、私の努めているところでは、上の方々がしっかりしておられるので、生徒に目が行き届いておますが、人数不足や講師のモチベーションの低さが原因で、あまり手厚い対応をしていない塾が多いのも事実です。

もっとも、私がいる塾でも、すべての要求に応えられている訳ではないと思います。それでも、最大限に努力はしていますし、常に自習できる環境を整えて、生徒が勉強しやすい環境作りを心がけています。

授業料＝授業時間しか塾にはならない

ということではありません。かといって、常に10～20人の生徒が自習しに来る環境を作ることも容易ではないかと思えます。担当の講師がしっかりと自分の生徒と信頼関係を構築し、自習に呼

んであげることが大切です。

保護者の方が、

「勉強しなさい！」

と言ったところで、子供は、

「あとでやるよ！」

と反抗されることは目に見えています。しかし、子供たちは、家の中と外では完全に違う自分を持っているのです。外ではいい子にしている場合が多いので、塾の講師が誘ってあげると、断りにくいのかもかもしれません。また、塾では他の講師や生徒の目もあるので、だらだらとゲームや漫画を読んで時間を浪費することもないはずですが、友人と一緒に勉強する生徒の姿もよく見かけます。一人では自習に参加しにくくとも、二人、三人といれば、あまり周りを気にせずにリラックスして集中できるのかもかもしれません。

私は、そのような塾の環境を整えていきたいと思っています。